

## 二酸化窒素の測定結果（令和3年度）

大気中の窒素酸化物は、物の燃焼に伴い空気中の窒素が酸化されてできるものと、燃料中に含まれている窒素分が酸化されてできるものがあります。発生源としては、固定発生源である工場・事業場のばい煙発生施設及び移動発生源である自動車などがあります。

令和3年度に、二酸化窒素について21測定局（自動車排出ガス測定局4局を含む。）で測定した結果は下表のとおりであり、令和2年度と比較すると、横ばい傾向にあります。

年平均値は、土岐自動車排出ガス測定局の0.011ppmが最も高く、一般環境測定局においては、岐阜南部測定局の0.009ppmが最も高い状況にありました。

なお、長期的評価に基づく環境基準はすべての測定局で達成しました。

地域	測定局名	有効測定日数 (日)	測定時間 (時間)	年平均値 (ppm)	日平均値が0.06ppmを 超えた日数とその割合		日平均値が0.04ppm以上 0.06ppm以下の日数 とその割合		1時間値の 最高値 (ppm)	日平均値の年 間98%値 (ppm)	長期的評 価の適否 適○否×	令和2年度	
					日	%	日	%				年平均値 (ppm)	長期的評 価の適否
岐阜	岐阜中央	365	8648	0.006	0	0.0	0	0.0	0.036	0.012	○	0.006	○
	岐阜南部	364	8645	0.009	0	0.0	0	0.0	0.047	0.018	○	0.008	○
	岐阜北部	365	8648	0.005	0	0.0	0	0.0	0.026	0.010	○	0.005	○
	各務原	363	8675	0.006	0	0.0	0	0.0	0.033	0.012	○	0.005	○
	本巣	358	8587	0.006	0	0.0	0	0.0	0.053	0.012	○	0.006	○
	平均	-	-	0.006	-	-	-	-	-	-	-	-	0.006
西濃・羽島	羽島	363	8671	0.007	0	0.0	0	0.0	0.043	0.015	○	0.007	○
	大垣中央	363	8679	0.008	0	0.0	0	0.0	0.031	0.014	○	0.009	○
	大垣南部	332	7959	0.007	0	0.0	0	0.0	0.032	0.014	○	0.009	○
	平均	-	-	0.007	-	-	-	-	-	-	-	0.008	-
揖斐	揖斐	362	8666	0.003	0	0.0	0	0.0	0.019	0.006	○	-	-
可茂	美濃加茂	360	8642	0.005	0	0.0	0	0.0	0.028	0.010	○	0.005	○
中濃	関	363	8674	0.005	0	0.0	0	0.0	0.025	0.010	○	0.004	○
郡上	郡上	363	8672	0.002	0	0.0	0	0.0	0.014	0.004	○	0.002	○
東濃西部	笠原	271	6509	0.005	0	0.0	0	0.0	0.024	0.011	○	0.005	○
恵那・中津川	恵那	363	8674	0.006	0	0.0	0	0.0	0.033	0.013	○	0.006	○
	中津川	363	8677	0.006	0	0.0	0	0.0	0.032	0.012	○	0.006	○
	平均	-	-	0.006	-	-	-	-	-	-	-	0.006	-
下呂	下呂	363	8670	0.002	0	0.0	0	0.0	0.027	0.007	○	0.002	○
飛騨	高山	359	8598	0.006	0	0.0	0	0.0	0.042	0.016	○	0.006	○
乗鞍		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.001	非適用
県平均		-	-	0.006	-	-	-	-	-	-	-	0.006	-
岐阜明德自排		364	8649	0.007	0	0.0	0	0.0	0.038	0.013	○	0.007	○
大垣自排		363	8678	0.009	0	0.0	0	0.0	0.031	0.015	○	0.009	○
可児自排		363	8676	0.009	0	0.0	0	0.0	0.038	0.017	○	0.009	○
土岐自排		363	8674	0.011	0	0.0	0	0.0	0.041	0.021	○	0.012	○

備考) 1 県環境管理課調べ

2 環境基準の長期的評価に適合しているとは、測定時間が年間6,000時間以上あり、日平均値の年間98%値が0.04ppm~0.06ppmゾーン内もしくはゾーン以下であることを示す。

3 県平均に、乗鞍測定局、自動車排出ガス測定局は含まない。